

西新井宿第一町会 住環境新聞

住民の力によって

住環境は変化する

住民が環境に対する意識を持たない限り、住環境は向上しません。

なぜなら、西新井宿を誰よりも一番理解しているのは、他ならぬ住民の皆さんだからです。その一番の理解者が住環境を改善するために何かできるとしたら、これほど効率の良いことはありません。皆さんが主体となってこそ、住みやすい町になります。そのためには自分達でできることを積極的に行える仕組み作りが必要だと思えます。実測や懇談会はその第一歩を踏み出すきっかけとなるのではないのでしょうか。

実測や懇談会に参加して、住環境に対する理解と知識を深め、行動力のある町会を築いていきましょう。

西新井宿第一町会

会長 小宮 幸右

町会員の皆様には日頃当町会の運営にご協力頂き誠に有難う御座います。

この度、芝浦工業大学三浦研究室様の提案、ご協力を得まして当町会の環境調査を行うことになりました。

当町会は東北道につながる道路が中央に走り、近年鉄道も整備され、三年が過



第 1 号

2004.10.1 発行

製作者

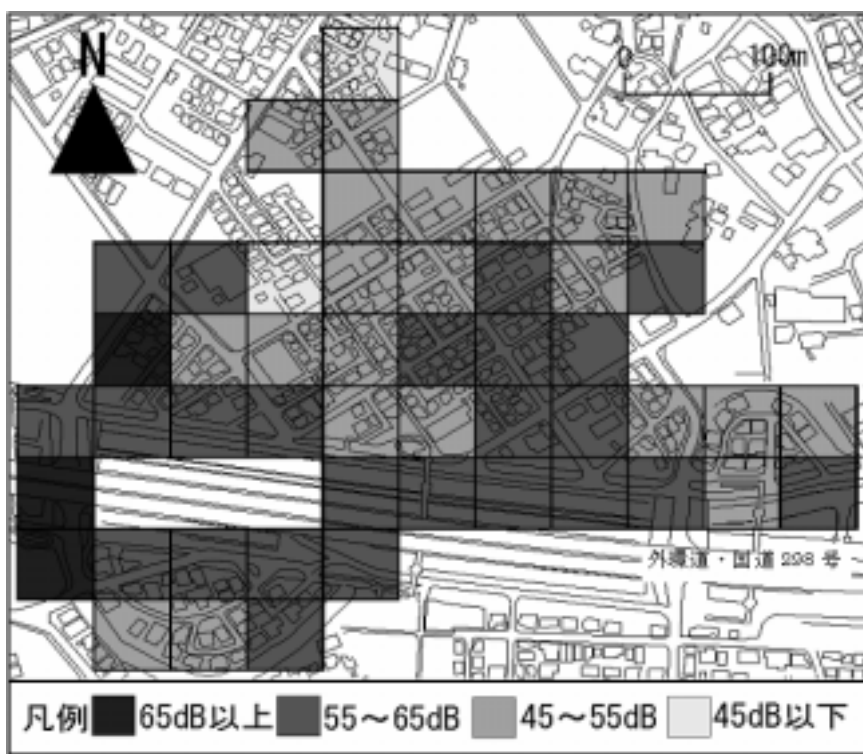
西新井宿第一町会
芝浦工業大学三浦研究室

4 年 飯間正照

4 年 高野利永

住環境マップとは？

騒音、空気の汚れ、風通しといった地域様々な住環境を、地図上にわかりやすく表現したものです。古くから住んでいる方の中には「最近、空気が悪くなったなあ」といった、昔との違いを感じている方もいるのではないのでしょうか。新しく引っ越してきた方は自分たちの地域の住環境がどのようになっているか、よくわからないという事も多いと思います。地域の住環境にそれなりの関心があっても、それを実際に調べたり、その結果をわかりやすく表現したりすることは容易ではありません。しかし、地域の住環境をわかりやすく表現した住環境マップがあれば、地域の住環境をより良くする活動に役立ちます。実測結果はこのような住環境マップなどにしてお知らせいたします。下の図の参考が住環境マップの例です。



参考：騒音の住環境マップ

計測日：2002 年 10 月 9 日 (水) 9:30 ~ 17:00

担当学生紹介



三浦研究室
飯間正照
いひま まさてる

西新井宿を初めて案内してもらった時、まず感じたことは、四方に道路が通っていて、国道の交通量が多いということでした。これから開発が予想されるからこそ、住民の皆さんには現在の住環境を知っていただきたいと思えます。私達も、こうした新聞や実測を通じて、住環境に対する興味を深めていただけるよう努力してまいりますのでよろしくお願致します。



三浦研究室
高野利永
たかの りくひさ

初めまして。
三浦研究室四年の高野利永と申します。

これから住民の皆さんと協力して西新井宿の住環境について考えていきたいと思っています。実測調査や懇談会でみなさまとお会いするのを楽しみにしています。この新聞を通して住民の皆さんが少しでも住環境について興味を持っていただけたら幸いです。よろしくお願致します。

お問い合わせ先

芝浦工業大学

システム工学部 環境システム学科 三浦研究室

〒337-8570 埼玉県さいたま市見沼区深作 307

TEL 048(687)5832 FAX 048(687)5199

E-mail r01052@sic.shibaura-it.ac.jp (高野)

教授：三浦 昌生

担当学生：飯間正照・高野利永

ホームページ <http://www.mmlab.se.shibaura-it.ac.jp/>

【新聞の発行にあたって】

この「西新井宿第一町会住環境新聞」は、住民の皆さんに住環境に対する興味を持っていただきたく、また住環境実測調査に参加していただきたいの思いを込めて発行しております。この新聞を読んで少しでも関心を持っていただければ幸いです。なお、この新聞は毎月発行する予定です。今後ともどうぞよろしくお願いたします。



実測調査の様子

説明会
計測器の取り扱いと実測の段取りを説明します。また、疑問に思うことや知りたいことにもお答えします。



計測器の使用方法を説明している様子

実測調査の流れ

騒音・夜間照度・二酸化窒素
の実測が終わったら

新聞発行・アンケート調査
環境についての知識を深め、実測した西新井宿の住環境をお知らせします。

定期的な話し合い
実測日程などのスケジュールや打ち合わせを行います。



結果報告を行っている様子

共同実測
計測器を使って住民の皆さんと実測し、住環境データをとります。住環境が数値として現れるおもしろさをぜひ体験してください。

実測直後のアンケート
皆さんからの意見があれば次回の実測へ活かしていきます。

住環境マップの作成
詳しくは表面右下をご覧ください。



懇談会の様子

懇談会
アンケート調査や実測調査などから得られたものを知っていただき、どのような問題があるか見つけ、解決策やどう対処していくか話し合います。この話し合いが西新井宿のより良い住環境へのきっかけとなります。

皆さんが体験する実測はきっかけにすぎず、アンケートや住環境マップとして得るデータがゴール地点ではありません。懇談会を終えた後は、それらを基に改善案を出し合い、より良い住環境を住民自らの力で実現していくことが最終目標です。そのための知識や経験を実測や懇談会に参加して、得ていただければと思います。

アンケートにご協力ください

住環境に対する意識調査のため、同封のアンケートにお答えください。それらを集計・分析し、次号以降の本新聞にて皆さんにご報告いたします。自分以外の人はどう思っているのか、地区全体としての意識はどうかなどを知っていただきたいと思います。アンケート票の配布・回収方法は各班長さんを通じてお願いしたいと思います。お手数をおかけしますが、ご協力お願いいたします。



このような騒音計を使って実測します。

- 【実測方法】
各実測地点で、同時刻に計測する。1地点で数回実測しその平均をとります。
- 【目的】
植栽や地形、建物の大きさによって騒音の分布がどのように変化しているかを調査します。
- 【候補日・計測時間】
下記参照
- 【計測器説明会】
10月18日もしくは実測直前に行います。

騒音実測一回目実施のお知らせ

二酸化窒素計測カプセル



照度計

お手数ですが、参加人数把握のため、同封しておりますアンケート末ページの申し込み用紙にご記入下さい。ご記入いただいた方には、詳しい日程が決まり次第、こちらからご連絡いたします。

実測に際しては計測器を使用しますが、実測前に機器の使用法を説明致しますので、ご安心ください。

- 10月下旬【23日・24日】
・騒音実測1回目
計測予定時間は3時間です。
- 11月上旬【9日・15日】夜間
・夜間照度実測
計測予定時間は3時間です。
- 11月中旬【16日・18日・24日・25日】
・騒音実測2回目
計測予定時間は3時間です。
- 11月下旬・12月上旬
・二酸化窒素実測
全戸に計測カプセルを配布

参加者募集

左記の日程で各実測を進めていく予定です。奮ってご参加ください。

【 】は候補日です。各実測は候補日の内、一日だけ行います。